

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	栂川ダム整備事業(水源地域整備事業)		
部 局 名	都市整備局	課(室)名	河港課
		電話番号	087-839-2522

【事業全体概要】まちづくりの目標：人と環境にやさしい安全で住みよいまち

総合計画	政策	水を大切にすまちづくり		主 体	県
	施策	安全で安定した水道水の供給		期 間	平成 20年度～平成 27年度
	基本事業	安定給水の確保		総事業費	188,285
重点取組項目	重点取組課題 4			特 定 財 源	国
関連根拠法令等	水源地域対策特別措置法(水源地域整備事業)				県
事業区分	自治事務	種 別	事中・事後	市債	48,600
事業種類	補助			他	0
				一 般	48,178

事業の概要  
 ・栂川ダム水源地域整備計画事業  
 ダム建設による水源地域への影響を緩和し、関係住民の生活の安定と福祉の向上を図るため、土地改良事業や道路事業などを行なう。

【事業の目的と指標】

対象	栂川ダム水源地域	対象指標名	
		水源地域面積	
手段	香川県が定めた水源地域整備計画に基づき土地改良事業や道路事業などの水源地域整備に対し、高松市としてその費用の一部を負担する。	活動指標名	
		水源地域整備事業実施件数	
意 図	栂川ダム建設による水源地域の生活環境等への影響緩和を図る。	成果指標名	
		水源地域整備進捗率	
結 果	水源地域における関係住民の生活の安定と福祉の向上につながる。	効率指標名	
		事業実施件数に係る人件費削減額	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	h a	38	38	38	38	
活動指標	件数	1	2	2	2	
成果指標	%	73.3	78.9	98.7	89.8	
効率指標	千円	1,629	1,991	2,353	1,991	
トータルコスト	[千円]	15,163	7,748	17,900		
(事業費)	[千円]	12,991	5,903	16,365		
(職員人件費)	[千円]	2,172	1,845	1,535		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成 6 年に代表される異常洪水が頻りに発生し、市民生活や経済活動に多大な影響が生じるとともに農作物にも甚大な被害が発生した。	平成 2 2 年 9 月に国土交通大臣から「ダム事業の検証に係る検討について」の要請を受けた県は、同年 1 1 月に「香川県ダム検証に係る検討委員会」を設置し再検証を行い、平成 2 3 年 7 月に事業継続とする対応方針を国土交通省に報告し、平成 2 4 年 2 月に同省より、補助金交付を継続とする決定がなされた。	国土交通省のダム事業に対する補助金交付の継続決定を受け、水源地域整備事業についても、地域住民から早期完成を目指した、より一層の事業推進が期待されている。	地元住民の要望を基に、ダム建設事業により著しく影響を受ける水源地域の振興を図るため水源地域整備計画が策定された。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
A 法令等により市が実施しなければならない 水源地域整備事業は、ダム建設によりその基礎条件が著しく変化する地域に対して講ずる事業であり、市が実施する必要がある。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 本市の新たな水源地周辺の環境整備である水源地域整備事業は、高松市持続可能な水環境の形成に関する条例に基づき策定した「高松市水環境基本計画」に掲げた基本方針の一つである「水環境の健全化」に寄与する事業である。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
A 必要性はない 水源地域整備計画に掲げる事業は、椋川ダム建設による水源地域の生活環境等への影響緩和を図り、水源地域住民の生活の安定と福祉の向上に資することから、着実に実施する必要がある。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 椋川ダム建設に伴う事業であり、事業の廃止や休止した場合、ダム建設の推進に影響を与えるほか、水源地域における関係住民の生活環境や事業活動に悪影響を及ぼす。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 事業の推進に当たり、地元関係者で組織する「椋川ダム対策協議会」と連携を図っている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
A 向上余地はない ダム建設の進捗に合わせて事業を実施していることから、向上の余地はない。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み/実施する必要がなかった 水源地域整備計画に掲げる事業を実施する担当課に、予算を執行委任しているため。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 事業の一部を翌年度に繰り越したため。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 水源地域整備事業の執行委任先である担当課と連携し、事業の進行管理に努めた結果、効率的に事務処理を行うことができた。
10. コスト縮減ができたか
B 縮減できた 予算執行委任先に担当課において、工事内容を精査し実施しているほか、高松市公共工事コスト適正化指針に基づき、コスト適正化が図られた。また、年間を通し事務処理を効率的に行い、トータルコストを縮減した。

【一次評価】

評価区分	継続																								
椋川ダム建設に関係する水源地域整備事業であるため、地元負担金を維持継続する。																									
	改革案	期待効果																							
内容	改革案なし	阻害要因なし  阻害要因																							
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

【二次評価】

評価区分	継続
椋川ダム建設に伴う水源地域への影響の緩和と活性化を図る事業であり、地元負担金の継続は妥当である。	